

伊丹福音ルーテル教会 待降節第二主日礼拝のしおり

2021年12月5日

主を待ち望むアドベント(点火)

1. 主を待ち望むアドベント、最初の蠟燭ともそう 主が道を備えられた このときを守ろう
※主の民よ、喜べ、主は近い

2. 主を待ち望むアドベント、第二の蠟燭ともそう 主がなされたその様に 互いに助けよう ※

招きのことば：詩編 19 編 8-12 節

主の律法は完全で、魂を生き返らせ 主の定めは真実で、無知な人に知恵を与える
主の命令はまっすぐで、心に喜びを与え 主の戒めは清らかで、目に光を与える
主への畏れは清く、いつまでも続き 主の裁きはまことで、ことごとく正しい
金にまさり、多くの純金にまさって望ましく 蜜よりも、蜂の巣の滴りよりも甘い
あなたの僕はそれらのことを熟慮し それらを守って大きな報いを受けます

罪の悔い改めと赦しのことば

会衆： 私たちは生まれつき、自分中心、わがままで、心の中に本当の愛のかけらもありません。思いとことばと行いで、まことの神を軽んじて、となりびとにも愛のない、神の御前に罪人です。神様、ほんとうにごめんなさい。

私たちは祈ります。私たちを救うため あなたがお与えくださった イエス・キリストによって、どうかあわれんでください。アーメン。（短い黙祷を持ちましょう）

牧師： 何でもおできになる神様は、あなたのすべての罪を赦すために、そのひとり子、イエス・キリストを十字架の上で死に渡してくださいました。ですから神様の御言葉をとりつぐ務めに任じられた牧師として、今、あなたがたに宣言 します。父と、御子と、聖霊のお名前によって、あなたの罪は赦されました。安心して行きなさい。**アーメン。**

み言葉の部

使徒信条

われは、天地のつくり主、父なる全能の神を信ず。

われは、そのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死して葬られ、

陰府(よみ)にくだり、三日目によみがえり、天にのぼり、父なる全能の神の右に座したまえり。生ける人と死にたる人とを審かんがため、かしこより再びきたりたまわん。

我は聖霊を信ず、また、聖なるキリスト教会、すなわち聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、かぎりなきいのちを信ず。 **アーメン**。

祈り

愛とあわれみに満ちておられる 私たちの父なる神様、心から感謝をいたします。今朝も共に礼拝にあずかり、罪の赦しをいただき、新しいいのちをいただいて 一週間を始めます。

12月に入り肌寒い日々が続きます。一年を振り返りながら歩む日々でもあります。世の騒がしさに心みだれる季節でもあります。そのような中で、私たちはひととき心を静めて、共に神様の御前に導かれています。罪を悔い改め、イエス様の赦しにあずかります。聖餐の恵みにもあずかります。このようにこれから迎える一週間も、神様からいただいたいのもちをもって、よるこんで神様と人々に役立つ一週間としてくださいますことを感謝いたします。

新型コロナ・ウィルスの感染拡大を防ぐために、なお緊張感を保っていかなければなりません。その中でも 御手にゆだね確信をもって、あなたの子どもとして 安心して 生き生きと生きる日々を与えてください。

この祈りを、私たちの救い主であり 主である イエス・キリストのお名前によってお祈りいたします。 **アーメン**

使徒書朗読：ピリピ人への手紙 1章 3-11節

わたしは、あなたがたのことを思い起こす度に、わたしの神に感謝し、あなたがた一同のために祈る度に、いつも喜びをもって祈っています。それは、あなたがたが最初の日から今日まで、福音にあずかっているからです。あなたがたの中で善い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までに、その業を成し遂げてくださいと、わたしは確信しています。わたしがあなたがた一同についてこのように考えるのは、当然です。というのは、監禁されているときも、福音を弁明し立証するときも、あなたがた一同のことを、共に恵みにあずかる者と思って、心に留めているからです。わたしが、キリスト・イエスの愛の心で、あなたがた一同のことをどれほど思っているかは、神が証ししてくださいます。わたしは、こう祈ります。知る力と見抜く力とを身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように。そして、キリストの日に備えて、清い者、とがめられるところのない者となり、イエス・キリストによって与えられる義の実をあふれるほどに受けて、神の栄光と誉れとをたたえることができるように。

福音書朗読：ルカによる福音書 3章 1-6節

皇帝ティベリウスの治世の第十五年、ポンティオ・ピラトがユダヤの総督、ヘロデガガリラヤの領主、その兄弟フィリポがイトラヤとトラコン地方の領主、リサニアがアビレネの領主、アンナスとカイアファとが大祭司であったとき、神の言葉が荒野でザカリアの子ヨハネに降った。そこで、ヨハネはヨルダン川沿いの地方一帯に行き、罪の赦しを得させるために悔い改

めの洗礼を宣べ伝えた。これは、預言者イザヤの書に書いてあるとおりである。「荒れ野で叫ぶ者の声がある。『主の道を整え、その道筋をまっすぐにせよ。谷はすべて埋められ、山と丘はみな低くされる。曲がった道はまっすぐに、でこぼこの道は平らになり、人は皆、神の救いを仰ぎ見る。』」

讃美歌 102 番

1. 諸人(もろびと)声上げ 喜びたたえよ 神の恵み この世に現れ
ダビデの村の いぶせき馬屋(うまや)に 清き御子は 生まれたもう
2. 諸人声上げ 喜びたたえよ 天(あめ)の扉 今しも開かれ
尽きぬ恵みを 身に帯び給いて 清き御子は 生まれたもう
3. 諸人声上げ 喜びたたえよ 死の恐れを 追いやりたまいて
よきおとずれを あまねく伝(つと)うる きよき御子は 生まれたもう **アーメン**

説教：「罪の赦しを得させる悔い改め」

私たちの父なる神様と御子イエス・キリストから、恵みと平安が豊かにありますように祈りつつ、御言葉をとりつぎます。

今日は待降節第2週です。アドベント第2週、ろうそくの灯をふたつともします。アドベントとは「近づく」という意味です。イエス様がお生まれくださったクリスマスを目指して待ち望む季節ですね。あとろうそくが二つともされて、四つのろうそくの灯がともるといよいよクリスマスです。

さて、この「待ち望む」ということは聖書ではとても大切にされています。何度も「主を待ち望め」と言われます。「主よ、来てください」と祈ります。「マラナタ」ということばは、主イエス様、今来てください、という意味です。聖餐式のときに、イエス様がそこに来て私たちにご自身のからだを血を与えてくださることを信じて、マラナタと歌います。そしてやがてイエス様がもう一度裁き主として来られることを待ち望みます。

けれども、本当に私たちはイエス様を待っているのでしょうか。私たちは久しぶりにお出合いした知り合いに、またどうぞいつでもお訪ねくださいね、と挨拶しますが、その人が次の週にでもほんとうに訪ねて来られるとは思っていません。言葉で言うことと、心で本当に思っていることが違います。このようにろうそくをともして、イエス様、どうぞ来てください、と歌い、祈り、備えているのですが、本当に私たちはイエス様を待っているのでしょうか。本当にイエス様が来てくださることを心から期待しているのでしょうか。

神様はイスラエルの民がほんとうに救い主のイエス様を待つことができるように、バプテスマのヨハネをまず人々に遣わしました。バプテスマのヨハネは、ヨルダン川のほとりの岩地ばかりの荒れ野で、神様のことばを語り、心打たれた人々が続々と彼のもとに来たのです。

人々はそれまであまり真剣に救い主が来ることを期待していませんでした。しかし、どうどうと神の言葉を語るヨハネに出会って、そうだ、私たちは救い主を待ち望んでいたではないか、そしてこのヨハネこそが、私たちが待ち望むべき救い主なのではないのか、と考えるようになりました。そのことを知ってヨハネは、私よりも優れた方が来られる、その方こそ救い主である、と言って、イエス様を紹介したのです。

ヨハネはどんな働きをしたのでしょうか。旧約聖書のイザヤ書40章3節からの預言のことばがルカによる福音書に引用されて、バプテスマのヨハネの働きを紹介しています。

「荒れ野で叫ぶものの声がする。主の道を整えて、その道筋をまっすぐにせよ。」バプテスマのヨハネは、人々が旧約聖書で予告されている救い主が来る、ということのを待っているように見えて、その実、そんな毎日の生活の中で意識していないことを知っていました。人里離れた荒れ野で叫び始めました。やがて、人々はその声を人づてに聞いて、わざわざヨハネに会うために集まってきたのです。このようにして、人々の心を整えて、イエス様が来られたときにお迎えするように道備えをする働きをしました。

5節には「谷はすべて埋められて、山と丘はみな低くされる」とあります。私たちの谷のような心、山や丘のような心に働いてくださいます。谷のように、がっかりしている心に、神様は救い主を送ってくださるという期待を注ぎ込みます。また山や丘のように、人を見下し、神様を必要としていないような高慢な人には、そのような心は神様の前にはよくない心であることを知るようにながして低くします。

また、「曲がった道はまっすぐに、でこぼこの道は平らになる」とあります。素直ではない心、どうせ私なんて神様に覚えられているはずはない、と曲がりくねった心でひがんでる者を、真直ぐに神様の前に立つことができるように導き、また、あるときは神様を待ちながら、またあるときは全く忘れてしまって神様に隠れて悪事を働いている者には、その道が平らにされて、自分の姿は神様から見通されていて、言い逃れのできるような隠れ蓑はないことを教えます。

そのようにして「人は皆、神の救いを仰ぎ見る」のです。ヨハネの働きによって、救い主イエス様を仰ぎ見ることになりました。ヨハネのメッセージは3節によると「罪の赦しを得させるために悔い改めの洗礼を宣べ伝えた」ということです。

今日、あなたはあなたの罪をほんとうに赦してくださるイエス様を待っていますか。谷のように、自分なんて、と谷底でうつむいていませんか。神様の赦しのあることは知っていても、自分を責めるばかりで自分なんて許されてはいけない、と認めていませんか。イエス様はそのよ

うな方々に会って「あなたの罪は赦された」と宣言してくださいました。信じて洗礼を受けましょう。

いや、反対に、あなたは自分は大丈夫だ、と油断して、考え違いをしていませんか。イエス様が赦し、新しい命を与えてくださるのでなければ、あなた自身では神様の御前に立つことすらできません。高慢にも、人と比べたり、前の自分と比べて、今の自分は神様の赦しを真剣に待ち望まなくても大丈夫だ、と書いていませんか。イエス様の出会われたイスラエルの指導者たちのほとんどはこのように考えていました。神様の御前に自分自身は自己中心で高慢な罪びとであることを認めて、悔い改めてイエス様を信じ、洗礼によって罪の赦しを得てください。

このような自分はとうてい神様に覚えられているはずはない、もう少しましな人間になって、もう少し純粋な人間になってから、イエス様のことを考えていこう、と書いていませんか。それは曲がった道です。イエス様はあなたの罪を赦すために十字架にかかって死んでよみがえってくださいました。あなたを招かれるイエス様にまっすぐ心に向けてイエス様にあずかる洗礼によって、罪の赦しを得てください。

いや、神様はいると思う人にはいて、いないかもしれないと思っている人には見えないと、自分の信仰の浮き沈みに悩んでいませんか。そのようなあなたにイエス様が近づいてくださってあなたの信仰を立てあげてくださいます。信仰のすべては罪の赦しです。自分の不徹底な姿を見続けることから目をイエス様に向けましょう。神様はそんなあなたをイエス様によって赦しとってくださいます。信じて洗礼を受けましょう。

私たちは本当にイエス様を待ち望んでいるのでしょうか。イエス様を待ち望むというよりも、多くの場合、神様のみ言葉に心向けず、自分のことばかりを見て、谷底にいたり、山や丘にいたり、曲がった道で迷ったり、でこぼこの道で心騒いだりしているのではないのでしょうか。バプテスマのヨハネは私たちの心を、あなたを愛してあなたの罪を赦し、神の子としてのあたらしい命でみなぎらせてくださるイエス様を迎えることができるように、罪の赦しを得させる悔い改めの洗礼を宣べ伝えました。イエス様の御名によって洗礼にあずかりましょう。すでにあずかっている方は、今日改めて、自分の身分を感謝しましょう。信じて洗礼を受けて、イエス様とひとつとなり、自分の罪に死んで、そこに現れ出たイエス様のいのちに生きてることに感謝をしましょう。そして、マラナタ、主よいま来てください、と歌いながら、イエス様にご自分の血とからだをお与えくださった聖餐にあずかり、悔い改めた心で喜びをもってイエス様をお迎えしましょう。

アドベント、待降節の季節です。騒がしい世の中に身をおき、私たちもあがったりさがったり、まがったり不安定な毎日を強いられています。罪を悔い改めて、自分ではなくイエス様を見上げる洗礼の心を与えてくださいます。神様は今日もイエス様を信じる信仰を私たちの内にあらたにしてくださって、赦しといのちの主が私とともにいてくださる、と確信します。そして、

神の子として今週も、神様に与えられた自分のもちばにあって、イエス様の心でたくさんの工夫をして、人々の役に立ってまっすぐに歩いていきましょう。

「そこで、ヨハネはヨルダン川沿いの地方一帯に行って、罪の赦しを得させるために悔い改めの洗礼を宣べ伝えた。」ルカ 3:3

人知をはるかに超えた神様の平安が、あなたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくださいます。アーメン

聖餐の部

主の食卓を囲み 讃美歌 21 81 番 1 節 2 節

1. 主の食卓を囲み、いのちのパンをいただき、救いの杯を飲み、主にあつて我らはひとつ。

※マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。X2

2. 主の十字架を思い 主の復活をたたえ 主のみ国を待ち望み 主にあつて我らは生きる。※

主の祈り

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。みくにを来たらせたまえ。

みこころの天になるごとく地にもなされたまえ。われらの日用の糧を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者をわれらが赦すごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。

われらを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。

国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。アーメン。

設定辞

「主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、『これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい』と言われました。アーメン

また、食事の後で、杯も同じようにして、『この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい』と言われました。アーメン
だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。

配餐 讃美歌 205 番、260 番、262 番

赦しの宣言

主イエス・キリストのまことの体と、まことの血は、あなたをきよめ、あなたを強め、永遠の命に至らせてくださいます。あなたの罪は赦されました。安心していきなさい。アーメン

主の食卓を囲み 讃美歌 21 81 番 3 節

3. 主の呼びかけに応え 主の御言葉に従い 愛の息吹に満たされ 主にあつて我らは歩む。 ※

讃美歌 344 番 献金 献金感謝の祈り

1. とらえたまえ わが身を、主よ、みこころ示して 日々まことを教えて、放ちたまえ、罪より

2. とらえたまえ わが身を、われに宿りたまわば とわの愛を伝えて、地に御国を来たらせん

3. とらえたまえわが身を、主の御手にぞおさめて、またき道を開きて 行かせ給え、みもとに

4. とらえたまえ わが身を、満たしたまえ 御霊を、わが全てを捧げて 答えまつらん み旨に
アーメン

主の祈り

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。みくにを来たらせたまえ。

みこころの天になるごとく地にもなされたまえ。われらの日用の糧を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者をわれらが赦すごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。

われらを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。

国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。アーメン。

頌栄：讃美歌 543 番

主イエスの恵みよ、父の愛よ、御霊の力よ、ああ み栄よ アーメン

祝福の言葉

仰ぎこいぬがわくは、私たちの主、イエス・キリストの恵み、父なる神の愛、聖霊の親しき
お交わりが、御前に集う一同とともに、今日も、この一週間も、いく久しくとこしえまでも、
豊かにありますように。アーメン

後奏